

令和2年度美術館評価調書

(その1)

北海道立帯広美術館

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	14.0%	15.4%	110.0%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、所蔵品を多く出品した特別展を開催したことにより、作品稼働率が上がった。 ・没後50年の神田日勝展への出品貸出が4点あった。同展は東京と札幌において開催され、貸出により主要所蔵作家の周知と再評価に貢献することができた。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は収集分野のうち「道東の美術」、「プリントアート」の作品合計9点の寄贈を受けた。 ・開館以来の長年にわたる作家作品の調査研究とその成果である特別展の開催、および当館に対する作家の信頼を反映したものである。 ・今後も引き続き収集対象作家、作品の調査及び地域で活動する作家の作品を紹介する事業を継続していく。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				c	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な保管環境を保持するため、温湿度管理設備について、設備委託業者と連携をとり、報連相を徹底し、状況把握に努め、必要に応じ定期的に補修・メンテナンスを行った。 ・設備更新が決定するまでの間、可能な限り長寿命化を図り、展覧会において貴重な美術作品を展示するために保存・展示環境の維持、保全に努めた。なお、今年度、作品修復の計画はなかった。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクションの適切な保存管理と効果的な活用に努めた。 ・作品収集においては、調査研究を進めてきた作品を受贈で収集することができ、ほぼ目標を達成することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

令和2年度美術館評価調査 (その2)

北海道立帯広美術館

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	28,000人	19,219人	68.6%	b	・コロナ禍において、観覧者数は減ったものの、満足度は目標を達成した。また、1年以内のリピート率が2倍以上増えたことは、熱心な美術ファンの来場が多かったことと、昨年の「チームラボ展」により美術館に足を運ぶきっかけづくりができたものと考えられる。 ・今後もコロナ感染対策を引き続き行い、来館者の安全確保を図っていく。
	常設展示観覧者の満足度	87.0%	90.8%	104.4%		
	常設展示のリピート率	20.0%	48.7%	243.5%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	48,000人	35,573人	74.1%	b	・コロナ禍において、観覧者数は減ったものの、満足度は目標を達成した。また、1年以内のリピート率が1.7倍増えたことは、熱心な美術ファンの来場が多かったことと、昨年の「チームラボ展」により美術館に足を運ぶきっかけづくりができたものと考えられる。 ・今後もコロナ感染対策を引き続き行い、来館者の安全確保を図っていく。
	特別展示観覧者の満足度	94.0%	93.5%	99.5%		
	特別展示のリピート率	27.0%	46.6%	172.6%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施	/	/	/	b	・来館が少ない高校生に向けた無料招待事業をボランティア団体「しらかばの会」の協力を得て行い、高文連全道書道大会の関係機関との連携により、一定の成果を得た。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか	/	/	/	c	・各種展覧会の特性に合わせ、企画のコンセプトと作品の魅力を伝えられるよう、SNS(Facebook)やローカルメディアを活用した。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	(実施なし)	(実施なし)	設定なし	c	・没後50年の神田日勝展への出品貸出が4点あり、同展は東京と札幌において開催され、貸出により主要所蔵作家の周知と再評価に貢献することができた。
	その他の館外展示の状況	/	/	/		

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	・来館者はコロナの影響により減ったが、昨年の「チームラボ展」により美術館に足を運ぶきっかけづくりができたことから、リピート率が目標を大きく上回った。 ・来館が少ない高校生を対象にボランティア団体の協力の下、無料招待事業を行うとともに、SNSやローカルメディアの活用により、入館者増の取組を行った。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

令和2年度美術館評価調書 (その3)

北海道立帯広美術館

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	60回	46回	76.7%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、教育普及事業の中止や延期があったこと、また、学校の教育活動も激減したため、プログラム実施数が減少した。また、参加者数も感染対策による人数制限を設けて実施したことにより、目標達成は7割に留まった。 ・教育普及プログラムの実施においては、人数制限を設けたが回数を増やすなど、運営面を改善し参加機会の確保を図った。
	教育普及プログラムの参加者数	5,000人	4,393人	87.9%		
	教育普及プログラムの満足度	94.0%	96.5%	102.7%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	4,800人	実施なし	—	b	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症対策のため一時休止 ・新型コロナ感染症対策のため一時休止 ・コロナの影響により、臨時休館の期間があったため、フェイスブックの投稿回数が半減した。 ・昨年の「チームラボ展」により、美術館に興味を持った方が増えたことから、HPから情報を入手する人がかなり増えたため、見やすさなどを考慮し、HPの構成を一部修正するなど改善を図った。 ・また、展覧会ごとにリモート・ミュージアムの動画を作成したことにより、HPアクセス数が増えたことも要因として考えられる。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	76.0%	実施なし	—		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	83,000件	172,845件	208.2%		
	メールマガジン等発行回数	(実施なし)	(実施なし)	設定なし		
	ソーシャルメディアの投稿数	150回	83回	55.3%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、特に学校教育活動が激減したため、実施数及び参加者数が目標の7割程度となったが、教育普及プログラムの延期や回数増により、参加機会の確保に努めた。 ・また、美術館に足を運べない状況においても、HPの改善や各展覧会毎にリモート・ミュージアムの動画制作を行い、一定の成果を得た。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

令和2年度美術館評価調書

(その4)

北海道立帯広美術館

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告				b	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会の企画及び作品収集にあたっては、当該作品の詳細で緻密な調査・研究が不可欠である。 ・継続した調査の成果として、特別展「池田緑」展を開催し、担当学芸員の執筆、編集による図録を作成した。 ・寄贈を含め、作家資料や図書資料等は継続的に収集・整理し充実を図っている。 ・収納スペースの狭隘化に伴い、適切な整理を行うことが課題となってきた。
	二次資料の状況					

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	作家との綿密な打合せや連携・協力の下、3年振りに学芸員の執筆、編集による図録を作成するとともに、寄贈を含め、作家資料や図書資料等を継続的に収集・整理し、充実が図られた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

令和2年度美術館評価調書

(その5)

北海道立帯広美術館

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	130人	66人	50.8%	c	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティア団体主催の研修会等の中止により、参加者数が半減した。 ボランティア団体の会員は高齢者が多いことから、感染対策のため活動休止や営業時間短縮などの措置を取ったが、美術館の運営に支障が生じないよう、美術館との連携・協力のもとボランティア活動に取り組んでいた。 高校生の来館が少ない課題を共有していることから、ボランティア団体の協力の下、高校生無料招待事業を実施し、一定の成果を得た。
	ボランティアが活動しやすい場の提供	/	/	/		
	地域と連携した取組の状況	/	/	/		
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	2校	100.0%	c	<ul style="list-style-type: none"> 帯広大谷短期大学、北海道教育大学釧路校の2校。 出張アート教室は実施校の学校規模に伴い目標を下回った。 指導者研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 コロナの影響により、学校教育活動が激減した。 コロナの影響により、学校教育活動が激減したが、コロナ禍における学校との普及事業の実施手段の確保などを今後、検討していく。
	出張アート教室の延べ参加者数	80人	40人	50.0%		
	指導者研修の延べ参加者数	10人	実施なし	—		
	学校教育活動への対応数	12件	3件	25.0%		
	参加者・利用者満足度	/	/	/		

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、地域の関係機関や団体等との密な連携により美術館活動の充実を図った。 学校との連携については、引き続き関係機関との連携を図り、教員への情報提供や研修機会を工夫し、美術館の活用方法を検討していく。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

令和2年度美術館評価調書

(その6)

北海道立帯広美術館

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	74.0%	77.2%	104.3%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶、ミュージアム・ショップともに目標を達成した。 ・いずれの付帯施設も、当館ボランティア「しらかばの会」が運営に当たっており、職員との連携を密に、展覧会にあわせた物販・メニューを提供するなど内容を工夫している。 ・ボランティア主体の託児事業も実施し好評を得ており、サービスの向上が図られている。
	ミュージアムショップ利用者満足度	77.0%	78.7%	102.2%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	92.0%	91.8%	99.8%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにおいて満足度が高く、概ね目標を達成した。 ・職員とボランティアが展覧会ごとに学芸員のガイダンスを受け、理解を深めた上で来館者への対応にあたった。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	93.0%	90.8%	97.6%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにおける「館内表示」、「清潔さ・雰囲気」の満足度が概ね目標を達成した。 ・日常の点検、巡回、法定点検により、安全性保持に努め、今年度はエントランスの修繕により段差を解消することができ、車イスのスムーズな進行やつまずき等による怪我の防止に一定の成果を得た。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は概ね達成しているが、今後も引き続き来館者アンケートを全職員で共有するほか、ボランティア団体にも情報提供を行い、更なる運営の改善・充実に努める。 ・施設・設備の安全保持については、来場者のニーズや老朽化の課題を踏まえ、計画的な修繕を進めていく。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E